

(1) 学校評価

学校教育目標	中・長期目標
1 複雑な世界の理解に備え、将来の学習のための基礎を作る。 2 グローバル化する経済や社会において活用できるスキを身につける。 3 個人がそれぞれの知的・社会的な可能性を活かせる、バランスの取れた情緒と身体を育む。 4 個人や社会が平和的に共存できるよう、社会のあらゆるレベルで人権・民主主義・異文化理解と尊重・平和と人間関係に触れる。	1 学習指導の充実を図り、生徒の単位修得や卒業後の自立に向けた支援を行なう。 2 生徒一人一人を大切に生徒との信頼関係を構築すると共に、生徒相互の豊かな人間関係を深めるための支援を行なう。
	本年度の重点目標 ① 生徒の実態に合わせた学習指導の改善や工夫をすすめ、生徒の単位修得や卒業後の社会的な自立に向けた支援を行う。 ② 学習に困難を抱えている生徒一人一人に対して特別な援助を行う。 ③ 信友会活動などを通して、生徒同士が関わり合い、豊かな人間関係を結ぶ機会をつくりだし、社会に歩みだす自信と他者への信頼感を育む。 ④ 人権・生命を尊重し、いじめや体罰のない安心安全な学校づくり。

対象	評価項目	評価の観点
学習指導	① 添削指導の充実	生徒の学力状況に合った適切なレポートの作成ができたか。また、一人一人の生徒の学習の励みになる添削指導ができたか。
	① 面接授業の充実	公開授業の交流等を通して、生徒の学習意欲を喚起し、レポート作成に役立つ面接授業ができたか。
	② 特別な学習援助	学習に困難を抱えている生徒に対して、きめ細かな支援ができたか。
生徒支援	全 学校生活や社会のマナーやルールの遵守	問題行動に対し、全職員で情報共有をし、協力して指導にあたることができたか。
	④ 基本的人権・生命を尊重する考え方の育成	いじめ、体罰を許さない安心・安全な環境づくりや人権教育を通して生徒に人権の大切さの理解を深めさせたか。 自殺予防教育等を通して、生命の大切さの理解を深めさせたか。
進路指導	① 生徒個々の進路目標実現に向けての支援と助言	生徒への情報伝達、職員間の情報伝達・情報共有など密に行うことができたか、生徒一人一人に対応した指導はできたか。 ハローワーク長野・ハローワーク上田・ジョブカフェ信州・コミュニケーションアイなど外部組織と連携した通信制型の進路指導の推進ができたか。
	③ 信友会本部委員会の力量の向上 仲間づくりや自主的な活動への支援	信友会活動の意義を理解させ、役員生徒の力量を向上させるとともに、生徒が主体的に活動できるように支援できたか。 多くの生徒が参加できる信友会行事や委員会活動・クラブ活動を計画し、それらを通して生徒間の人間関係づくりや自主的な活動を支援できたか。
通信情報	全 紙面作成の技術向上と質の充実	必要な情報をわかりやすく編集し、発行後内容を検討して今後にかかすことができたか。
特 生 別 徒 支 相 援 談	② 個のニーズに応じた適切な学習支援	レポート作成の困難さを抱える生徒やテストの不合格者に対し、的確な判断のうえに適切な個別指導がなされたか。
学校運営	全 職員間の協力・共同の推進	係会や委員会、教科会・学年会などを通して職員間の意思疎通が深められているか。
	全 的確な情報発信	ホームページや学校説明会などを通して、通信制高校の学習形態や本校の様子について理解してもらえるよう努めたか。